



入賞した青葉智寛くん(左)と尾野寿馬くん

大島忠昭さん(洞第3)が主宰する美術教室に通う尾野寿馬くんと青葉智

寛くん＝おなじくとうや小学校5年＝が、昨年に引き続き著名な絵画展で入賞を果たしました。

尾野くんは、10号の油絵「貝と水差し」が3月に開かれた「第41回ユネスコジュニア世界児童絵画展」で優秀個人賞を獲得しました。同賞は7人だけの受賞で、道内では唯一人。

青葉くんは、2月に行われた「第54回全日本学生美術展」に油絵「水差しとブロック」を出展(10号)し、油絵部門で佳作賞を受賞。約6,700点の応募の中、道内から小学生では唯一人選ばれました。

指導している大島さんは「二人の個性がでている。技術に走らず子どもらしい自然さが魅力です」と作品を評価。

二人は、「うれしかった。来年は特選を目指したい」とはにかみながら応えてくれました。

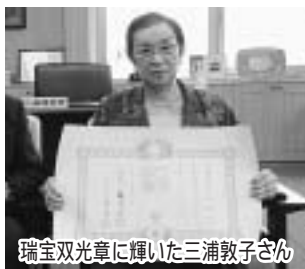
とうや小 尾野寿馬くん、青葉智寛くん 絵画展で入賞

2009年春の叙勲で、三浦敦子さん(虹6区)が、30年にわたる人権擁護の活動が認められ、瑞宝双光章に輝きました。

5月14日には、役場庁舎を訪問し、長崎町長に受賞の報告を行いました。

三浦さんは、昭和54年に人権擁護委員となり、現在は、室蘭人権擁護委員協議会会長を務めています。

「30年はあっという間でした。自分も勉強させられました。光栄に思います」と受賞を喜んでいました。



瑞宝双光章に輝いた三浦敦子さん

瑞宝双光章 人権擁護功労 三浦敦子さん

スポーツ吹き矢で健康増進 2009生涯スポーツフェスティバル

5月17日 2009生涯スポーツフェスティバル(北海道レクリエーション協会主催)があぶた体育館で開かれ、



初めての吹き矢にチャレンジする参加者

スポーツ吹き矢やスポレックなど新しいスポーツに約50人が挑みました。

スポーツ吹き矢は、筒に矢を入れて6先の的を目標けて放ち、当てた点数を競うもの。外国の同種の競技と違って、呼吸法をとりいれているのが日本の特徴で、健康増進にも効果があるといえます。

参加者は、指導者から説明を聞き、一人ひとりが矢を吹きとばし感触を楽しみました。また、午後からはスポンジボールを打ち合うスポレックで、汗を流しました。

観光朝市スタート 新鮮もぎたて野菜格安で提供

32回目を迎える「とうや湖観光朝市(岡崎進会長)が、湖畔遊歩道広場で5月17日(日)今年もスタートしました。

開始時間の6時前には、住民や観光客の人たちが訪れ、朝取りのグリーンアスパラやホウレン草、ウド、フキ、ワラビなど新



新鮮な地場産品を提供する観光朝市

鮮な旬の地場産品を買い求めています。

同朝市は、9月27日までの毎週日曜日午前6時～同8時まで営業しています。

まちのわだい